

地域密着型サービス評価の自己評価票

(☐ 部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者様の基本的人権が保護される支援を実践します。利用者様が安心して家庭的な生活ができるように支援します。利用者様が生き甲斐を持って生活できるよう支援します。		愛あるケアでゆとりとくつろぎの毎日を送れるよう支援します。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員の詰所、廊下の常にみえる所に理念を掲げて、理念を実行できるよう心がけています。		これからも今まで以上に理念を実行できるように努力します
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	去年は利用者様の家族と一緒に温泉に行ってもらったり、公園、神社の散歩の時も近隣の人々と軽い会話などされたりできる限り人と接することに取り組んでいます。		これからも今まで以上に理念を実行できるように努力します
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	天気の良い日はスタッフ同行で入居者様と商店街や神社に散歩に行っています		近隣の理美容室の利用、散歩、買い物、神社のお祭り、出店などの利用、近隣の方たちと多く接する事が出来るよう今まで以上に取り組んでいきたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域のイベントには積極的に参加しています。		これからも地域のイベントには積極的に参加していきます。

アイケア服部(5Fマイペース組)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	月に一回ミーティングを開いて話し合いの場を持って取り組んでいます		月に一回のミーティングを大事にしてスタッフの意思を統一できるようにします
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	スタッフ全員で評価を実施し、サービスに活かせるように取り組んでいる		改善できる事があれば話し合いながら出来る所から改善していきます
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2月17日に運営推進会議を開催し、サービスの状況等を報告しています。また、出席者、家族様からの意見などを聞かせて頂き、サービスの向上に努めていきたい。		出席者、家族様の意見を参考に利用者様の望む暮らし、想いを尊重し、もっと地域との関わりを大事にし、開かれた施設にしていきたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域福祉ネットワーク会議出席地域の民主委員さんのお誘いで地域の催しに参加している		市町村との連携を今まで以上に深くするように努め、サービス向上を行っていきたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	スタッフ全員が理解できているかわからない		話し合いや制度の事を勉強し、必要があれば活用できるようにしていきたい
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	スタッフ全員1人1人が利用者が生活スタイルを尊重できるように注意を払って仕事に取り組む		これからも同様にスタッフ1人1人が注意を払って仕事に取り組む

アイケア服部(5Fマイペース組)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	玄関ボードに契約内容の一覧を表示、管理者の説明、入居前後も細やかな説明を心がけています。		契約時に契約書を読み上げ、説明している利用者、家族様にも細かく説明してこちらから質問などがないか尋ね契約を行っている
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者のいつでも自由に意見を言える誠意を持ってお話を聞き、出来る範囲で対応し反映させている		現在同様意見箱を置き、利用者様からの意見を聞きやすい環境を作っていく
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	入居者様の居室に連絡ノートを置いて面会に来られた時にチェックしていただく。家族様とのコミュニケーションを大事にしている		日常から家族様と連絡をとり必要な時は来所して頂き面談を実施している
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会でいつでも気楽に管理者と話し合い改善できるようにしている		家族会でいつでも気楽に管理者と話し合い改善できるようにしている
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一回のミーティング、連絡ノート(夜→早→日→遅→夜)		職員からの意見や提案をいつでも出せるように専用ノートなどを作っていきたい
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	事前に休暇の申請を受け付け勤務の調整を行い、職員の希望通りに行っている		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員全員がどの入居者様の事も出来るだけ理解したいと思いいスタッフを少人数づつ3Fと5Fとで入れ替え、早、日遅交代出勤で対応している		

アイケア服部(5Fマイペース組)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	勉強会を開きスタッフ一人ひとりにあったレベルアップをしている。		今後は、もっと職員がレベルアップしていけるよう、勉強会、研修会への機会を増やしていきたい。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	事業所以外での研修会に参加をし、交流する機会をもっています。		今まで以上にサービスの質を向上させていきたい。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	ミーティング時に意見を聴いたり、問題事があれば、個別に意見を聴いたり、確認をするようにしている。		今まで同様、職員同士が意見を出し合い、ストレスがたまらないうちに解決できる、環境づくりをする。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員個々のレベルを上げる、習慣をつけています。		研修会などの出席、勉強会などを通しレベルアップに努めます。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	SSから見守り、声かけを行い、困っておられることを聞かせてもらっています。スタッフで解決できないことは、上司に報告、指示を仰ぐ。		利用者様とコミュニケーションをよくとり、話の内容を受け止め、その内容に合った支援ができるように努力しています。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族会があり、管理者、スタッフがいつでも対応できるようにしています。		昨年、家族会が発足し、どなたとも何でも話せるとてもいい関係ができています。今後も家族様との関係を大切にしていきたいと思っております。

アイケア服部(5Fマイペース組)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	出来る範囲で努めている。		出来る範囲で努めていきたい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居者様の入居者様情報で確認し、ご本人とお話しながら趣味、嗜好など興味を持っている事を出来る範囲で取り入れている		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	フロアで一緒にTVを観たりお話したりゲームなどを楽しんでいる。食事と一緒にテーブルを囲んでいる。盛り付けの手伝いなどたまに食事作り、おやつ作りもする		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族参加のお花見、日帰旅行などをしている		今後も利用者、家族、職員が一緒に参加できる行事を実施していきたい
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	お互いの良い所をお話する。(楽しいエピソード、気遣いなど)		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会自由 外出、外泊も入居者様が希望し安全が確認でき届けをだせば自由にして頂いている		今後も面会を自由にする事で馴染みの関係継続を支援していきたい
31	家族や大切な人に本人白ちが電話をしたり、手紙のやり取りがでキストニに支えあっている 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	見守り。共通で楽しめる事(カラオケ、ゲームなど)を考える。声かけして話を聞く		利用者全員が参加できるレクレーションを増やし、利用者同士の交流を深めたい

アイケア服部(5Fマイペース組)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	思いやりをもって出来る範囲で対応している		家族や利用者からの支援要請があれば出来るだけ応じられるようにしていきたい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	朝の引き継ぎ、その他いつでも感じた時に上司に相談し、指示を仰ぐ		日常生活の中でも一人一人の思いや暮らし方の希望を把握できるように努めたい
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に家族様より入居までの利用者様状況を確認し入居者情報を作成しています		利用者様の会話の中でいろいろな情報を得て今後の支援に活かしたい
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者様一人一人の生活状況を記録し、現状を把握するようにしている		利用者様一人一人の生活状況を記録し、現状を把握するようにしている
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月1回のミーティングで話し合い、ケアマネージャーと意見交換をしている		スタッフミーティング、家族会などでの情報を見落とすことないように介護計画を作成したい
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	上司に報告、指示を仰ぎ、現状に即した計画をケアマネージャーが作成している		上司に報告、指示を仰ぎ、現状に即した計画をケアマネージャーが作成している

アイケア服部(5Fマイペース組)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録、業務日誌、診察記録表など個々の些細な変化を見逃さず記録し、実践に活かしている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	歌教室、陶芸教室、篠笛コンサートなど多くのボランティアに協力して頂いている		施設外での活動を増やしていきたい
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の意向に応じ、ヘルスケアなどの施術を行っている		他事業者のサービス内容を調べて本事業所で利用できるサービスがあれば支援していきたい
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターと連絡を密に行い協働している		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、ご家族の方と話し合いをしてそれぞれの病院を利用できるように個別対応させてもらっている		いつでも受診できるようにしている

アイケア服部(5Fマイペース組)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症の専門医と連携し、利用者が定期的に受診できる体制をとっている。		専門医との関係を密にし、いつでも利用者の変化に対応できるようにしたい。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	定期的に訪問看護師の支援をうけている。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には担当医と連絡を密にし、早期退院が出来るように努めている。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	常に体調の変化に気をつけ、変化があれば、早期に家族に連絡をするようにしている。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている			今後は事業所の体制を整え、終末期にむけた介護が出来るようにしていきたいと思っています。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	十分な話し合いをし、今後のことも考え対応し、協力もしています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	ヘルパー一人ひとりが、守秘義務を守っている。		今までどおり個人情報の取り扱いには気をつけ、守秘義務は守ります。
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者さんが自己の気持ちをはっきり表現し、自己決定ができるように支援しています。		
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様一人一人の生活を大切にし、個人のペースにあわせ、個別対応をするようにしています。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	出来る範囲で本人の望まれるように支援していきたい。		
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	テレビの料理番組を見て、職員と一緒に買い物に行き、調理、盛り付けや、おやつづくりをしたり、後かたづけも手伝ってもらっています。		
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	コーヒー、お茶、こぶ茶、紅茶など好みに合わせ楽しんでいただいている。年に数回ですが、お酒なども楽しまれています。		個人の好みに合わせ、日常的に楽しんで頂けるように支援していきたい。

アイケア服部(5Fマイペース組)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	利用者様一人ひとりの排泄パターンを把握し、上手な声かけをし、気持ちよく排泄して頂けるように支援している。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者様の体調に合わせ、平等になるように、順番をきめ、入浴して頂いている。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	利用者様のペースに合わせ、安心して休んで頂けるように、支援しています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	調理、盛り付け、掃除、カラオケ、ゲーム、歌教室、リズム体操、篠笛コンサート、ドライブなど等楽しみや、気晴らしをして頂けるように出来る範囲で支援させてもらっています。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様の理解の元に、ご本人が使いたい時に使えるよう支援している。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者様の希望により、散歩、買い物に出かけて頂いています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	利用者様は大好きです。電車を利用したの買い物(庄内、岡町など)、ドライブ、お花見、日帰り温泉旅行などへの支援をしています。		利用者様が楽しみにされているので、今後も全員参加で出かける機会を増やしていきたい。

アイケア服部(5Fマイペース組)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	筆まめな利用者様は、ご家族様によく手紙を出されたりされています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族様、友人、知人など、よく面会にいられています。外出、外泊も自由にして頂いています。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	プライバシーに配慮しながら(ベッドの下にセンサーを設置)見守り、声かけをし、安全に気をつけ、拘束をしないケアをさせて頂いております。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	実践している。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は早番、日勤、遅番が利用者様の目の届くところで常に見守りをしており、夜勤者は1～2時間おきに巡視、見守りをして安全に配慮しております。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個々の私有物入れがあり、日用品はなくなり次第補充し、管理しています。危険物は手の届かない所に保管しています。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	火災訓練、障害物の除去、転倒、食事時の見守りなど事故防止には職員には気をつけています。		

アイケア服部(5Fマイペース組)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	人員、シフトの関係で一部の職員しか救急救命の講習を受講出来ていない。		今後は、全ての職員が受講するようにしていきたい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署より職員の方に来ていただき、階下の池田クリニックさんと合同で防火訓練や消火活動訓練をしています。		今後は地域の方にも働きかけていきたいと思っています。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	転倒等のリスクについては、常々家族様にお話をさせていただいており、転倒が予測される方については、ベッドの下にセンサーを置かせて頂き、室内移動時にSSで感知できるようにしております。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	一人ひとりの記録をとることにより体調の変化等があれば、連絡ノートに記入し、申し送りをすることで、情報を共有し、対応しています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の服薬ポケットがあり、服薬間違いがないように確認し、服薬の支援をしています。服薬後の副作用についても薬の説明書を読み理解するようにしています。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便記録を参考にして、個々にあった対応を心掛けています。(運動、繊維質の食べ物、水分摂取等)		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、歯ブラシでの口腔ケアをしていただいています。		

アイケア服部(5Fマイペース組)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	各居室にお茶入りのポットを置いています。栄養士による食事作り、おやつなど充実している支援を心掛けています。		糖尿病の方には個別にこんにゃくライスを作り、食べて頂いています。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	口腔ケア後うがい薬でのがい、外出から戻られた際のがい、手洗いの徹底を実行しています。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材はいつも新鮮なものを使用し、管理にも気をつけています。洗浄後の食器も熱湯消毒をし、調理器具などは洗浄後ハイター消毒を心がけています。布きんや、おしぼりは専用洗濯機で洗濯後、消毒しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関口には鉢植えを置いたり、通路には利用者様が作られた作品を展示しています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアの壁に利用者様と職員が一緒に作った小物などを貼り付け、楽しんでいます。新聞を読まれたり、チラシをみて、井戸端会議などもされています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアにはいつでも利用者様がそれぞれに過ごして頂けるように、大きな机と椅子を置いています。		

アイケア服部(5Fマイペース組)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居以前に使用されていた、使い慣れたものを使って頂いたり、家族様の写真などを飾って頂いています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	職員が気をつけ、利用者様一人ひとりの様子を観察し、居室の換気、室温の設定をこまめにしています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かし、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立した生活が送れるように、手摺り、フロアでの車椅子対応、エレベーター、階段の昇降、バリアフリー等にしてある。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かし、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	何かをするときは、事前に予定を伝え、説明をして混乱されないように気をつけています。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	お天気の良い日は、ベランダにお蒲団を干したり、洗濯物をいっぱい干して、乾くと取り入れ、洗濯物たたみなどを手伝っていただいで居ます。		

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

アイケア服部(5Fマイペース組)

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
		○	②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

職員が、利用者様一人ひとりに合わせた個別対応ができるようにとりくんでいます。